

はたらく人と
環境にやさしい
“SDGs実践事業所”
としての取り組み

RICOH
imagine. change.



2023年9月15日

リコージャパン株式会社 岐阜支社



リコー・ジャパンについて

リコージャパンの概要

- 名称 : リコージャパン株式会社(RICOH JAPAN Corporation)
- 創立 : 1959年5月2日
- 資本金 : 25億円
- 代表者 : 代表取締役 社長執行役員 CEO 笠井 徹
- 売上高 : 643,276百万円(2023年3月期)
- 従業員数 : 18,518名(2023年4月1日現在)
- 拠点数 : 348拠点(2023年4月1日現在)
- 事業所 : [本社]東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル
[支社]全都道府県に48支社を配置



代表取締役 社長執行役員 CEO
笠井 徹

全国広域
大規模企業

地域密着
地場企業

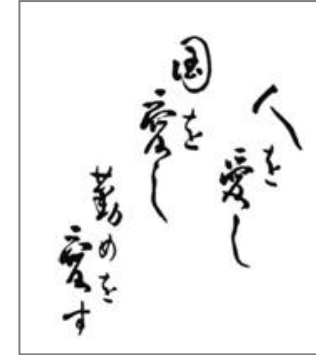


創業の精神

三愛精神

創業者 市村 清

「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」



—創業の精神—



リコー創業者
市村 清

使命と目指す姿

“はたらく”に歓びを

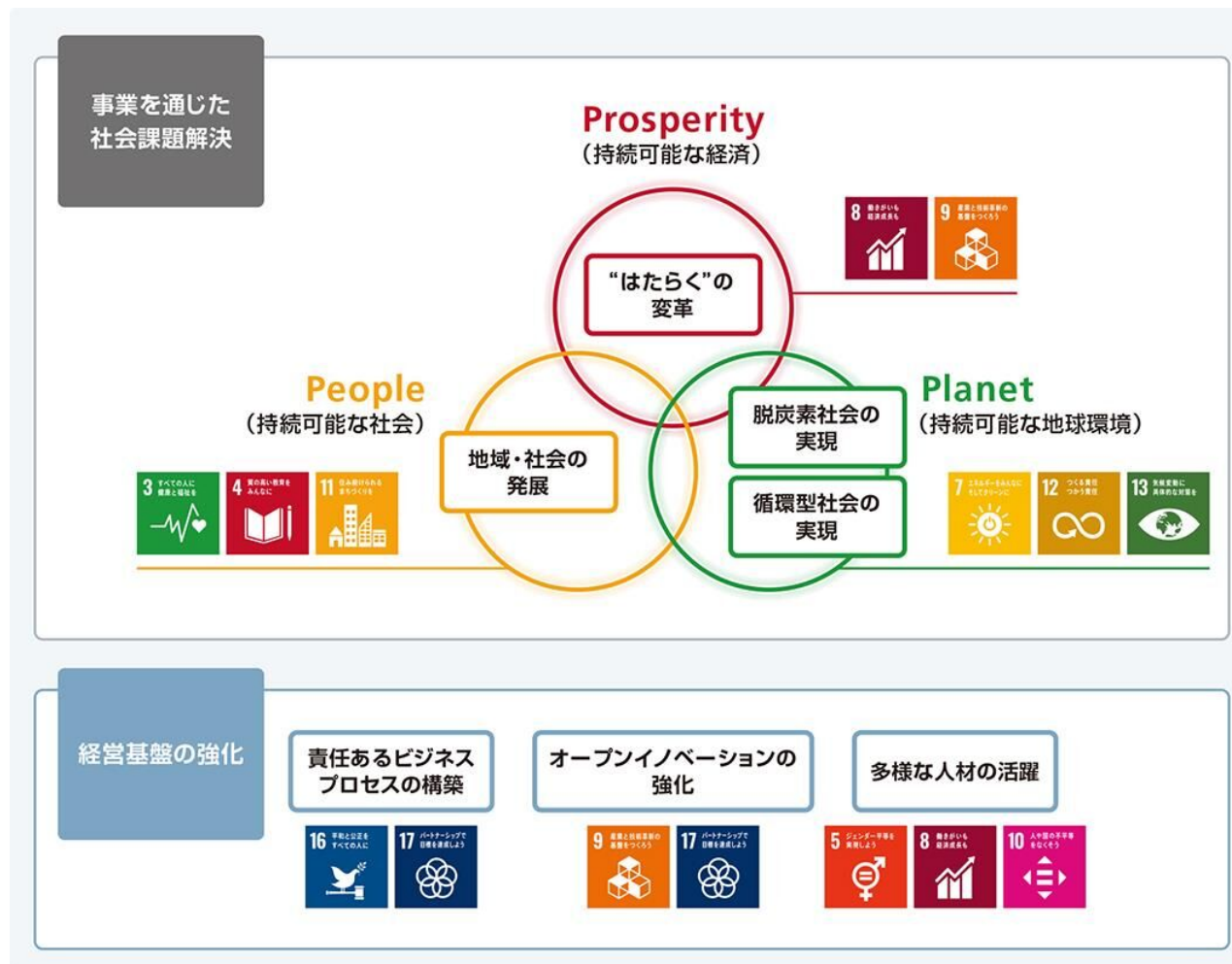
“はたらく”に寄り添い変革を起こしつづけることで、
人ならではの創造力の発揮を支え、持続可能な未来の社会をつくります。



社会に貢献する事業を行うことはリコーのDNA

リコーグループ7つのマテリアリティ(重要社会課題)

経営理念、経営戦略、ステークホルダーの期待を踏まえて、
リコーが貢献する**12のSDGsゴール**を抽出、**7つのマテリアリティ**を設定



リコージャパンの掲げる「事業とSDGsの同軸化」

「社会課題起点で」業務に取り組み、成果を上げることで、業績達成や社内のプロセス改善だけでなく、社会課題解決を加速させるという考え方

製品・サービスを通じてお客様と進める SDGsへの貢献

お客様の生産性向上、働き方改革、産業の基盤づくり、医療・福祉・教育の質の向上、持続可能な地域づくり、環境負荷削減など

自社 + パートナーと取り組む SDGsへの貢献

社内のCO2削減、公正な取引の推進、パートナーとの連携強化、人材育成、働きやすい環境の整備など

経営目標

財務目標（業績）

サステナビリティ目標（社会への貢献度）

目指す姿

お客様とともに、地球環境・社会・経済のバランスの保たれた持続可能な社会に貢献し、“はたらく”喜びを実現



リコージャパン(株)岐阜支社の取り組み

岐阜支社の体制について

高山事業所



10名規模



遠隔地におけるリモート環境を活用した働き方とEV活用によるBCPのある拠点

岐阜事業所



Nearly ZEB (ニアリーゼブ)

100名規模



はたらく人と環境に配慮した事業活動をSDGsの観点から地域社会に発信する拠点

東濃事業所



Nearly ZEB (ニアリーゼブ)

30名規模



ふと立ち寄りたくなる寛ぎを重視した快適空間
最新設備による脱炭素への取り組み拠点

誇りを持って働ける会社に向けて (2017年10月以降)

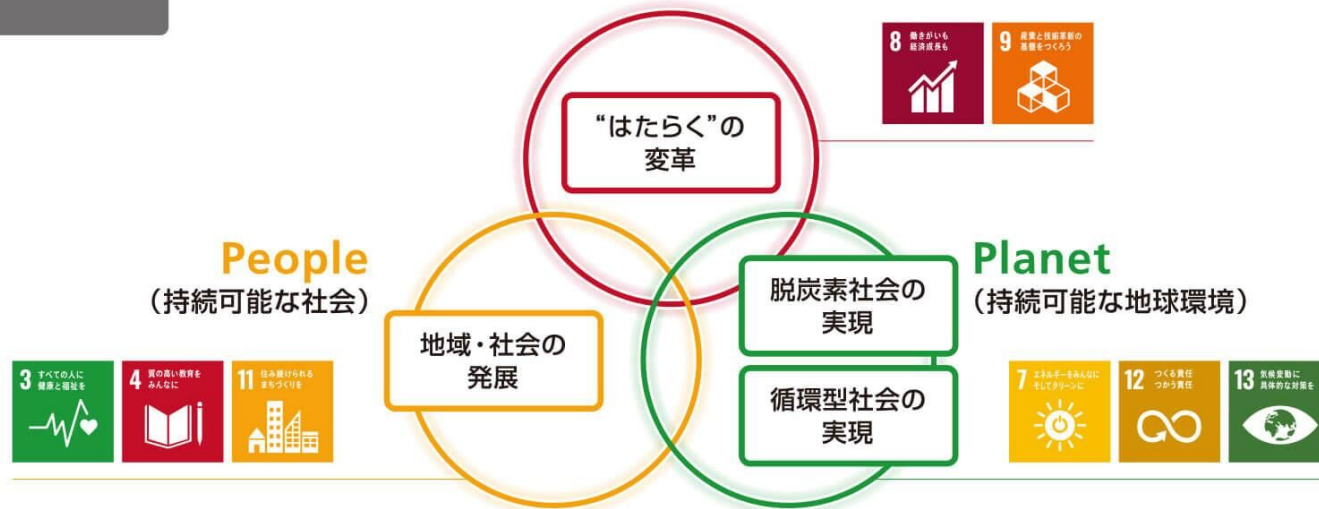


事業を通じた
社会課題解決

Prosperity
(持続可能な経済)

People
(持続可能な社会)

Planet
(持続可能な地球環境)



経営基盤の強化

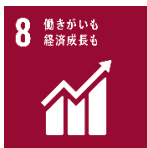
責任あるビジネス
プロセスの構築

オープンイノベーションの
強化

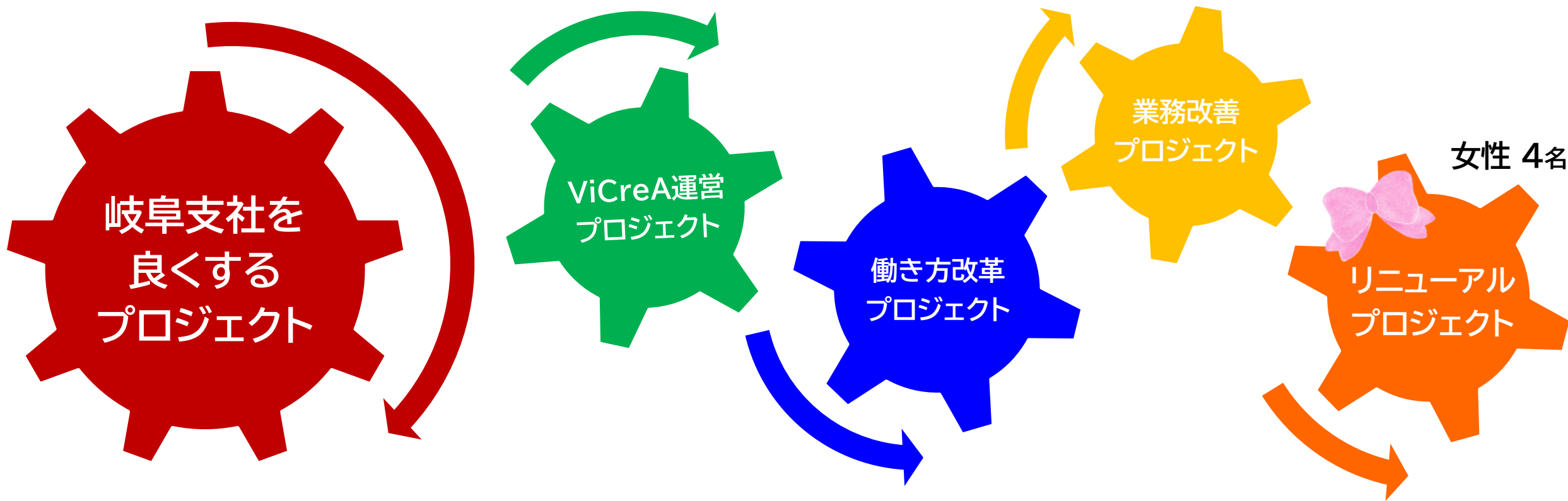
多様な人材の活躍

ES なくして **CS** なし

社員がいきいきと
誇りを持って働ける会社



■ 誇りを持って働ける会社に向けて（2017年10月以降）



岐阜支社
コンセプト

笑顔でつながる
わくわくオフィス
～進化・創造・ing～



- ・ 社員がイキイキと誇りを持って働けるオフィスへ
- ・ いつでも、何度でも、最新の【場所・働き方・商品】に出会える場所へ

はたらく人と環境にやさしい事業所にリニューアル



- 健康経営に配慮したワークスペース
- AED設置
- バリアフリーオフィス



クリーンなエネルギーでの事業活動

- 太陽光発電の活用
- 蓄電システム
- EVステーション
- 電気自動車の導入
- 脱炭素社会に向けた取り組み
- エネルギーの有効活用



- 働き方改革への取り組み
- ライブオフィスでの発信



- ユニバーサルデザインに配慮したオフィス (みんなのトイレなど)
- LGBTQへの理解



『創エネ・省エネ・蓄エネ』



- 余剰在庫を生まないパーツ供給体制
- 分別やりサイクルの取り組み



創エネ×省エネ×蓄エネの三位一体で実現する「ZEB対応の省エネモデル事業所」



岐阜県の民間企業として初の**Nearly ZEB**を取得

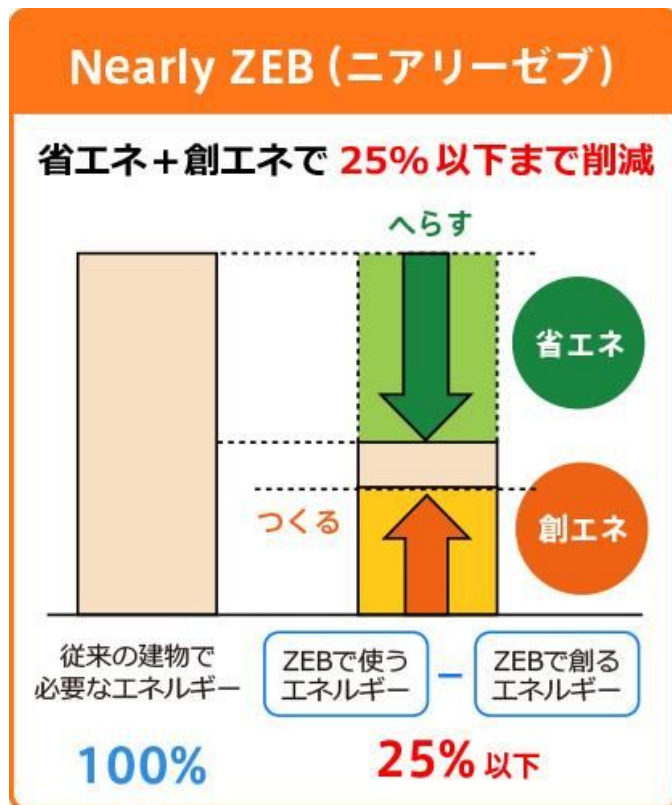
ZEB対応の省エネモデル事業所とは

補足資料

RICOH
imagine. change.

Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)

快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。



ZEB (ゼブ)	従来の建物で必要なエネルギー	ZEBで使うエネルギー	ZEBで創るエネルギー	0% 以下
Nearly ZEB (ニアリーゼブ)	従来の建物で必要なエネルギー	ZEBで使うエネルギー	ZEBで創るエネルギー	100% 25% 以下
ZEB Ready (ゼブレディ)	従来の建物で必要なエネルギー	ZEBで使うエネルギー		100% 50% 以下

BELS認定とは
建築物の省エネ性能を表示する第三者認証制度の1つで、一次エネルギー消費量をもとに5段階の星マークで評価しています



「エコなオフィス」の概要



RICOH
imagine. change.



システムで自動制御された館内照明(調色・調光)



創出した電力は社屋で自家消費



創エネ

省エネ



蓄エネ

L2-tech導入実証事業(環境省の補助金)を活用



光ダクト



採光クロス・フィルム

自然光を活用する設備



蓄電池とEVの2系統から社屋に返電



余剰電力の活用(地域貢献・BCP)

仕事の内容・目的にあわせて、最適な空間を選択する働き方

オフィス(岐阜事業所)でのワークスタイル



オフィス以外



在宅勤務



モバイルワーク



岐阜事業所 新社屋立ち上げ後の変化

リコージャパンの脱炭素に向けた取り組み

新設社屋^{*1}を「ZEB^{*2} Ready」以上とし、顧客提案へも活用
各地域の 事業所を通じて、脱炭素の実践状況をご紹介します



ZEB

和歌山事業所
〔20年4月〕



帯広事業所
〔21年12月〕



宮崎事業所
〔22年1月〕



Nearly
ZEB

岐阜事業所
〔19年3月〕



熊本事業所
〔20年3月〕



上田事業所
〔21年10月〕



つくば事業所
〔22年3月〕



東濃事業所
〔23年2月〕



ZEB
Ready

明石事業所
〔20年5月〕



掛川事業所
〔20年8月〕



大館事業所
〔21年4月〕



*1: 自社所有/一棟借りのみ

*2: Net Zero Energy Buildingの略称で、年間で消費する建築物のエネルギー量が大幅に削減されている建築物。
省エネ基準に対して『ZEB』(100%以上減)、Nearly ZEB(75%以上減)、ZEB Ready(50%以上減)がある。

はたらく人を中心としたワークスタイルによる効果

W L B

誰もが自分らしくいきいきと



岐阜支社の男性社員が育児休業を取得



業務の多能工化によって、
内勤スタッフも在宅勤務が可能に

緊急事態宣言中の出勤率20%に制限しているオフィスとリモートを活用した働き方



B C P


感染症対応における



平成30年度 岐阜県ワーク・ライフ・バランス エクセレント企業認定

2019年3月 岐阜県の民間企業として初のNearlyZEB認定

令和元年度 ぎふし共育・女性活躍企業認定 

令和2年 岐阜市男女共同参画優良事業者 

第33回
(令和2年度) 日経ニューオフィス賞 中部ブロック奨励賞

令和2年度 岐阜市景観賞《屋外広告物部門》景観奨励賞
(余剰電力を活用したプロジェクションマッピングによる情報提供)

全社員でつなぐSDGs宣言リレー



社員の写真で壁面装飾 (SDGsモザイクアート)



グループ共通 SDGs月間



社員参加型社会貢献活動の企画
(県内企業と連携したボトルキャップ回収活動)

デジタルを活用した社内配信



デジタルサイネージ



県内企業・団体との連携事例

■ NPO法人泉京垂井様との連携事例



11th
**FAIR
TRADE
DAY
TARUI**



● フェアトレードデイ垂井とは

「フェアトレード」や「地産地消」をメインテーマに、垂井町で毎年開催されているイベント。公正な取引や労働の観点からも共通項を持つ障がい者福祉活動とも連携し、SDGsの基本理念である「誰ひとり取り残さない」活動としてのフェアトレード運動を地域と共に取り組んでいます。



社員のアイデアを元に協賛内容を企画

リコーグループの製品・技術・取り組み×社員のアイデアで、活動の輪を地域社会に広げる

社屋サイネージでのイベント告知



「リコーえなの森」間伐材を活用したグッズ



次世代まで100年生き続ける森を目指し、
地元住民とリコーがともに守る「えなの森」

リコーRi100で印刷したオリジナルスタッフ章



洗って繰り返し使える
マスク型スタッフ章

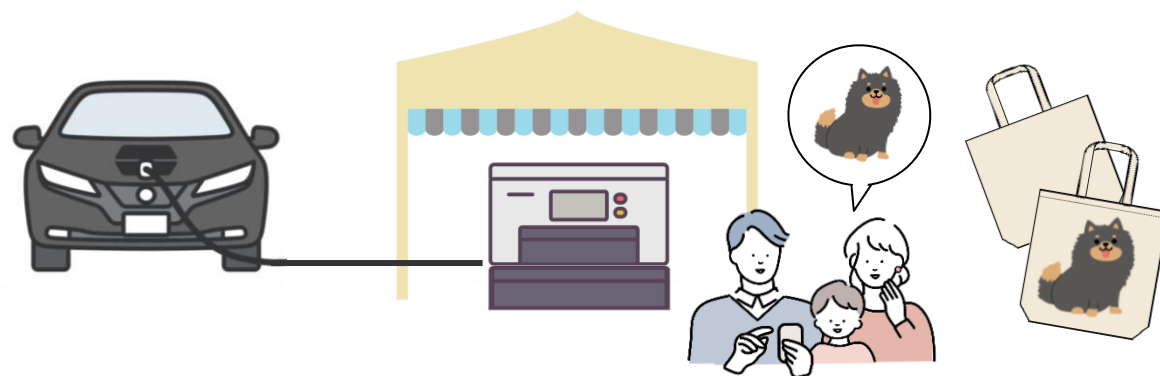


コースターとしても
使えるスタッフ章

■ (株)艶金様 中部電力パワーグリッド(株)様との連携事例

RICOH
imagine. change.

リコーグループの製品×県内企業との連携で、活動の輪を地域社会に広げる



(株)艶金が実施している「のこり染エコラップ」のワークショップに RICOH Ri100を活用したオリジナル印刷でコラボしました
ブースで使用する電力は、中部電力PGのEVより供給



中部電力パワーグリッド



Tsuyakin

株式会社 艶金



RICOH

リコージャパン(株)岐阜支社



RICOH
imagine. change.